

Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／滑 恵介

学校法人香川学園
(宇部フロンティア大学)
理事長
神谷 晃



人に教わる、頼りにされる。 それは知識や技能の修得以上に 社会人として大切な素養

1 10年前、創立者香川昌子先生が女子の実務教育の場として裁縫学校を開いたのが香川学園の始まりです。その後、「人間性の涵養と実学の重視」を柱に中学校や高校、短期大学などを設置。2002年には4年制大学を開校するに至りました。最大の特色は、精神保健福祉士や社会福祉士といった資格取得を目指す教育に特化していること。07年の看護学科新設によって実学重視の医療系大学という色彩がいつそうはつきりしてきました。

父は開拓者として十勝に入植した経歴をもちます。北海道出身である私自身、フロンティアの名に恥じぬ実践をしたいという思いでこの学校に着任しました。社会人入学に力を入れ、長期履修学生の利便性を高めるため放送大学の単位を全面的に認める制度を導入したのも、そうした思いからです。

クリニックは実習の場であると同時に地域貢献の場です。そして最大の地域貢献といえる学生が地元で就職することでしょう。今年、県内就職率は5割を超えました。就職内定率は医療関係など専門領域でほぼ100%。就職後3年間の定着率は90%を超えるなど離職率の低さも際立っています。理由として考えられるのは、人間相手の実習が多いことに加え、あいさつが飛び交う校風や、教職員や学生同士、あるいはアルバイトなどを通じて人間関係を作る場が多いからだと思えます。人と円滑な会話ができていくことは、患者さんはもちろん、同僚ともコミュニケーションがとれるということです。それができる人間は好感をもたれますし、新人であろうと仕事を任せられます。すると仕事を早く覚え、頼りにされるといい循環が生まれるのです。

【理事長プロフィール】かみや・あきら●1946年生まれ。北海道大学薬学部卒業。薬学博士(京都大)。広島大学医学部、京都大学医学部を経て、89年山口大学医学部教授。同大学医学部附属病院副病院長、同大学副学長補佐などを歴任。2010年宇部フロンティア大学教授。2012年7月より現職。

【大学プロフィール】1903年香川学園創立。60年宇部短期大学(現宇部フロンティア大学短期大学部)開学。2002年宇部フロンティア大学開学。人間健康学部(看護学科)、人間社会学部(福祉心理学科)。短期大学部(保育学科、食物栄養学科)。

思うに、人から教わるのがうまくかたり、頼りにされたりするのも社会人としての大切な素養です。背中を丸め自信なさ気になっている人間には、何かを教えようとか、仕事を頼もつという気にはなりません。そのため、知識や技能といった実学の修得はもちろん、日常のあいさつや人間関係なども大切にしている学校でありたいと思っています。